

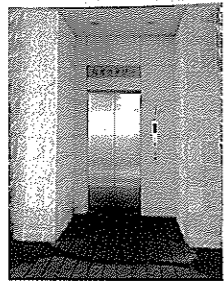
バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen

鹿児島島のいろいろな建物や施設、あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれていきます。一人ひとりが、より快適で自由に暮らしが営めるように。



障害者専用トイレ



建物中央部エレベーター

●ウォーターフロント地区にできた、2階建ての鹿児島では見たことがないような建物。市街地、城山、港周辺から望む桜島・錦江湾の風景を損なわないよう設計されている。

実はこのドルフィンポート、鹿児島県が取り組んでいる「福祉のまちづくり条例」施設整備基準に適合しており、24の飲食店を中心としたお店が入っている中で、駐車場、通路、トイレ、エレベーターなど障害者に優しいバリアフリーを取り入れた建物となっている。オープンして間もなく半年。障害者の方もかなり来場されているよう

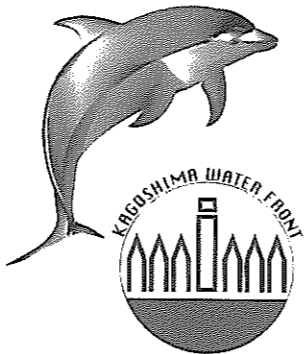
鹿児島で一番新しい
情報発信エリア

ドルフィンポート

FILE No.1

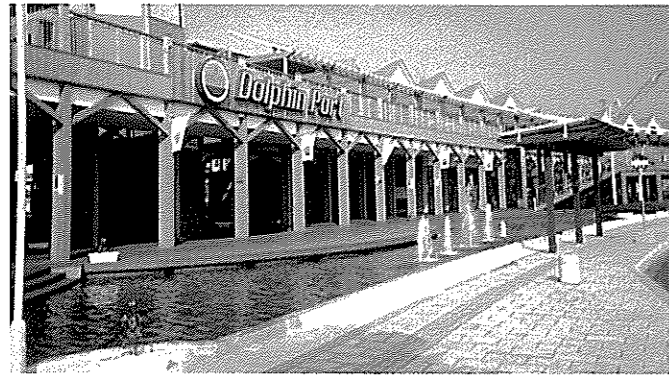
(鹿児島市)

住所 鹿児島市本港新町5番4号
TEL 099-221-5777
URL <http://www.dolphinport.jp>

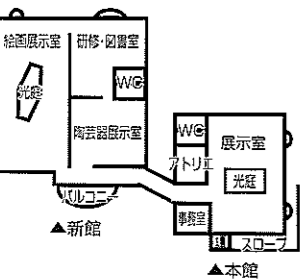
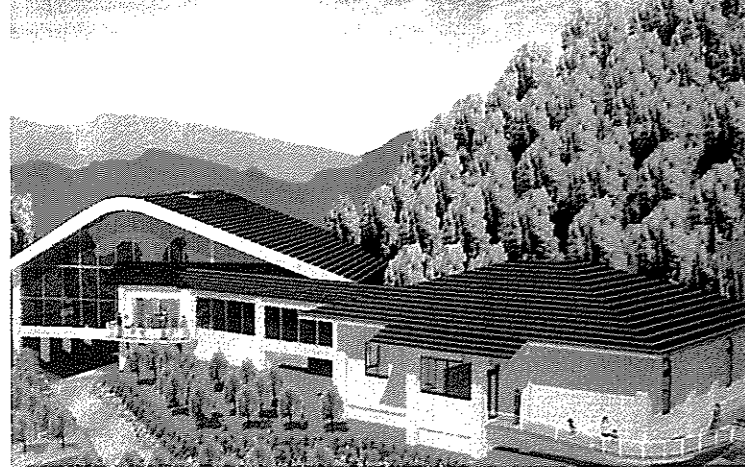


Dolphin Port

だが、案内所へは「トイレの数が少ない」といった苦情があるようで、ドルフィンポートの徳永マネージャーにお聞きしたところ、「案内パンフレットには3ヶ所しか記載されており、24の店内トイレを自由に利用できます」ということなので、安心して出かけることができます。



完成予想図(左/新館・右/本館)



「自然との融合」をコンセプトとした、緑の中の児玉美術館・新館で、秋のゆったりとした一日を楽しみたい。

緑の中の美術館

児玉美術館

FILE No.2

(鹿児島市)

住所 鹿児島市下福元町8251-1
TEL 099-262-0050
開館時間 10:00~16:00
定休日 月曜日(月が祝日の時は火曜日)



「アップ」し、トイレもオストメイト対応設備を設置。車椅子の方、オストメイトの方々にも安心して利用できる環境を整えている。また、壁、床に炭素材を使用し、身体に優しい作りとなっており、最新のバリアフリー設備を取り入れた構造となっている。

駐車場から本館までは健康作りの視点から、遊歩道を利用するよう作られているが、障害のある方は本館入口近くまで車での乗り入れOK。こちらも「福祉のまちづくり条例」施設整備基準に適合している。



平川動物公園に 電動車椅子寄贈

鹿児島市郵政まじゅうくり協議会会長/長家達朗鹿児島中央郵便局長)が、電動車椅子1台を贈った。

車椅子は同協議会が、今年3月鹿児島ふれあいスポーツランドで開いたチャリティーバザールで、市内の郵便局職員約1800人が持ち寄った、約2000点の品物を販売した収益での購入。

平川動物公園では各職員に対して、使い方などの指導・研修を行い、時期を見て投入する予定。なお現在、電動車椅子3台、手押し車椅子9台が常設されている。



寄贈された電動車椅子



チャリティーバザール風景

私達障害者と一緒に 走りませんか?

鹿児島市内に住む視覚障害ランナーの三雲明美さん。「ありが通信」でも紹介しましたが、今でも走ることを楽しみ、各大会に向けて練習を重ねています。しかし、三雲さんが悩んでいることがひとつあります。同じ境遇を持つ障害者ランナーに対して、同伴していただける伴走者が不足しているのです。



ガイドロープを使って一緒にランニング

伴走者とは、50センチの紐(ガイドロープ)を握って全盲ランナーの横を一緒に走る人です。以前陸上競技をされていた方、現在ジョギングなどご走ることを楽しんでる方、又走ることは苦手でも、安全確認や方向指示などのお手伝いができる方など、幅広くサポートしていただける方を募集しております。詳しく知りたい方はぜひご連絡ください。

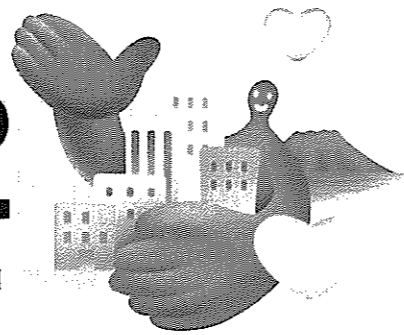
連絡先
ランニングランナーズ
代表 三雲明美
TEL 0990(0990)54772

ありが掲示板

平成18年度鹿児島障害者職業能力開発校入校生募集

- 応募資格 身体または知的障害者の方で身辺処理能力を有する方など
- 訓練科 建築設計科(新設)、デザイン製版科、OA事務科、情報電子科、義肢福祉用具科、アパレル科、造形実務科
- 募集期間 10月3日(月)~11月4日(金) ※当日公共職業安定所受付印有効
- 選考日 12月1日(木) 午前9時から
- 選考方法 筆記試験(国語、数学)および面接
- 合格発表 12月16日(金)
- 問合せ先 鹿児島障害者職業能力開発校 TEL0996-44-2206
各地の公共職業安定所

鹿児島県からの お知らせ



店舗等のバリアフリーのための低利・長期資金 【福祉のまちづくり施設整備資金】

この資金は、中小企業者の方などが、公共的施設（不特定かつ多数の方が利用する施設で、物品販売業を営む店舗、飲食店、理・美容院、ホテル、病院など）を、整備基準に適合した整備を行う場合に必要な資金を融資するものです。

※整備基準とは、公共的施設の出入口、廊下、階段、エレベーター、トイレなどについて、高齢者や障害者の方などが安全かつ快適に利用できるようにするために定めた基準です。

貸付条件

ご利用いただける方

県内で引き続き1年以上事業を行っている中小企業者及び組合で、鹿児島県福祉のまちづくり条例の整備基準に適合するための整備を行う方

申込先

各商工会議所・商工会
組合は鹿児島県中小企業団体中央会

問合せ先

県庁障害福祉課 TEL.099-286-2746
県庁経営金融課 TEL.099-286-2946

限度額

4,000万円

利率

5年以内の返済 年 2.25%
5年超7年以内の返済 年 2.45%
7年超10年以内の返済 年 2.85%

保証料

有担保保証 年0.95%
無担保保証 年1.05%

返済期間

10年以内

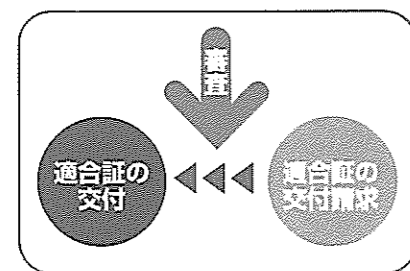


鹿児島県福祉のまちづくり条例

適合証



バリアフリーな施設をアピール【福祉のまちづくり条例適合証】

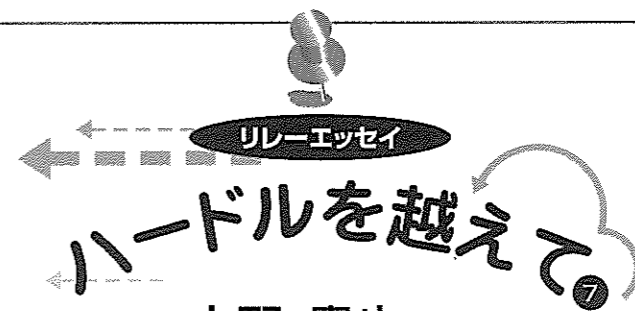


適合証の交付が受けられます。

公共的施設を所有し、または管理する人は、その公共的施設が整備基準に適合しているときには、適合証の交付を請求することができます。

建物の正面玄関などに掲示し、バリアフリーな施設であることをアピールしましょう。

●問い合わせ先: 県庁障害福祉課 099-286-2111 (内線2746)



大野 貴也さん
(鹿児島市・星ヶ峯中1年)



僕は先天性の二分脊椎症という病気でひざから下の感覚がなく、杖と車椅子で生活しています。そんな僕が今一番夢中になっているのは、車椅子バスケットです。小学校5年の時、母から「薩摩ぼっけもん[車椅子バスケットのチーム名]の方が車椅子バスケットを教えて下さるそうだからやってみない?」と言われ、最初は気軽な気持ちでジュニアのチームに入りました。まず、車椅子バスケットを見てびっくりしたことは、ゴールの高さが、健常者のバスケットゴールと同じ高さということでした。車椅子に乗っていると立ってシュートするより高くボールを上げないと届かないのに、高い位置からでも軽々とシュートしているのです。他にも、車椅子を動かすスピードにびっくりしました。僕も出来るかなと思ってやってみると、ゴールには程遠く、なかなか入りませんでした。二年間、ジュニアで基礎を教えてもらっていましたが、メンバーの

都合で解散することになり、僕は今、大人のチーム(ぼっけもん)で練習しています。大人の練習は、最初はきつく、みんなの半分の時間しか練習できなかったけど、少しでもみんなのレベルに近づきたいという気持ちで頑張っているうちにだんだん慣れてきました。今では、毎週金曜日と月曜日の練習が待ち遠しいです。僕は、8月と9月に熊本で行われた車椅子バスケットの大会に少し出場させてもらえるということで、張りきって練習しました。最初の試合は緊張して、ベンチにいる時考えていたようにはプレーできませんでした。2回目の大会では試合の雰囲気にも少し慣れて、シュートを決めることが出来ました。試合での記念すべき初ゴールです。ゴールした時は、まさか自分がシュートを決められるとは思ってなかったので、とてもうれしかったです。僕は大会に参加してすごい選手にたくさん会いました。車椅子に乗っているのに、立っているのと変わらないくらい背が高く、どんなボールも取れ、確実にシュートが決まる人、障害のレベルが重い人でもスピードが速くディフェンスの上手な人、障害のレベルや年齢もいろいろだけど、みんな生き生きとプレーしていると思いました。僕もいつかこの中で、みんなに認められる選手になりたいと思いました。そして、もっともっと練習して「薩摩ぼっけもん」が優勝できるよう頑張りたいです。

●大野 貴也さん
平成4年7月生まれ
今年星ヶ峯東小卒業
現在星ヶ峯中1年
車椅子バスケットボールチーム「ぼっけもん」に所属





Q このマークが入口に張ってあるお店を見かけたのですが？

A 日本では補助犬に対する理解がまだ十分ではなく、レストランなどで補助犬同伴での入店を断られるということがしばしばありました。そこで、平成14年10月「身体障害者補助犬法」が施行され、公共の施設や交通機関に同伴することができるようになり、さらに、平成15年10月からは一般的な施設(デパート・ホテル・飲食店など)にも同伴できるようになりました。



事業主の皆様には補助犬へのご理解をいただき、補助犬がもっともっと活躍できる環境を作っていただけようをお願いいたします。

ありば

VOL.10 平成17年9月30日発行

「バリア」の逆は「ありば」。

バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、

「ありば」というタイトルにしました。

みんなに住みよいまちを、みんなで作るために。

人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、

それが「ありば」です。

[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL.099-286-2111(内線2746) FAX.099-286-5558

[E-mail] shougai@pref.kagoshima.lg.jp

[URL] <http://www.pref.kagoshima.jp/home/shogaika/fukumachi/fukumachi-top.htm>

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視聴覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。